



HIRAMATSU
EDUCATIONAL GROUP

大分リハビリテーション専門学校 理学療法士科 PT NEWSLETTER

29 Oct. 2026

VOL. 07

本校教員の研究成果が国際学術誌に掲載！

—座ったままで運動能力を評価する新たな可能性—

本校理学療法士科の大嶋 崇先生が筆頭著者を務めた研究論文が国際学術誌に掲載されました。

大嶋先生は現在、大分大学大学院医学系研究科の博士課程に在籍し、理学療法に関する研究に取り組んでいます。今回掲載された論文は、その研究成果であり、座ったまま行う簡単な運動テストと、心肺運動負荷試験で測定される全身持久力との関連について検討したものです。



①どんな研究をしたの？

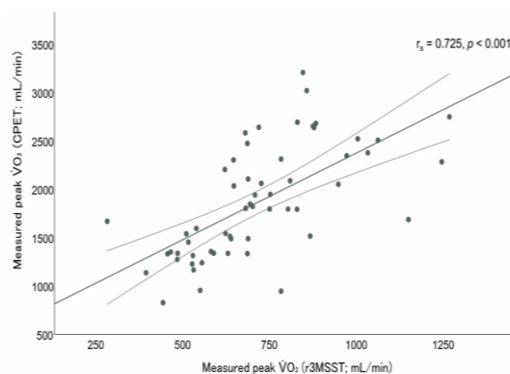
座ったままの足踏みで、

全身持久力が分かる？

全身持久力（長時間運動を続けるための体力）の詳しい評価には、専門的な機器を使う「心肺運動負荷試験」が用いられます。今回の研究では、椅子に座って3分間足踏みを行う「改訂3分間座位ステッピングテスト」で、全身持久力を簡単に評価できる可能性を検討しました。



②この研究で何がわかったの？



改訂3分間座位ステッピングテスト中の酸素摂取量は、心肺運動負荷試験で測定した酸素摂取量と強い関連がありました。

③この研究はどのように役立つの？

1.簡便に評価できる可能性

特別な設備がなくても、全身持久力を「足踏み」で評価できる可能性があります。

2.様々な場面で使用できる可能性

病院だけでなく、地域や在宅など、広い場面の活用が期待される。

今後は実際の患者さんでの検証が必要です

雑誌名	Journal of Functional Morphology and Kinesiology
論文	Physiological Associations, Within-Session Repeatability, and Exploratory Prediction of Peak Oxygen Uptake Using the Revised 3-Minute Seated Stepping Test in Healthy Young Japanese Adults
著者	Takashi Oshima, Kenichiro Tanaka, Shinya Nakagawa, Ami Tominaga, Miku Matsuo, Masaharu Asai
掲載日	2026年9月27日
論文URL	https://doi.org/10.3390/jfkmk11040388

本校では、教員も研究活動を通して専門性を高め、学び続けています。学生にも「学ぶことの面白さ」や「探究する姿勢」を伝え、臨床・研究の両面で活躍できる理学療法士の育成を目指しています。